
「新しい算数」 評価規準 【4年】

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

本資料は、令和 2 年度用教科書「新しい算数」に基づいてご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。各学年とも、「単元名」、「教科書のページ」、「配当時数」、「活動時期（学習時期）」、「学習指導要領の内容」、「単元の目標」、「単元の観点別評価規準」を示した後、表形式で「時（時間の区切り）」、「目標」、「学習活動」、「評価の観点と方法の例」を示しています。

【本資料における活動時期設定の方針】

年間 35 週（1 学年は 34 週）を基準として、月ごとの週数を暫定的に以下のように定めた上で設定しています。しかし、週数は地区や学校の状況や考え方によって様々であることから、本資料に示す「活動時期」は一応の目安とお考えいただき、適宜修正してください。

なお、各学年とも、教科書の指導計画時数は年間標準指導時数の 9 割前後とし、残りを予備時数とし、実態に応じて柔軟に活用していただけるようにしています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間標準指導時数
週数（1 学年）	2	3	4	2	0	4	4	4	2	3	4	2	136
週数（2 学年以上）	3	3	4	2	0	4	4	4	2	3	4	2	175

【本資料における目標、評価規準設定の方針】

あくまで本資料における方針であるため、1 つの参考とお考えください。

●「単元の目標」

資質・能力は単元の学習後には渾然一体となって身につくものとの考えから、学習指導要領に示された内容のまとまり（例：第 1 学年 A 数と計算（1）数の構成と表し方）等を基に単元の内容を俯瞰し、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の 3 観点に関する内容を一文にまとめて示しています。

●「単元の観点別評価規準」

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点ごとに、単元の学習後に全体的な視点から評価する際に活用するものであると位置づけ、単元の学習内容に即して一定程度具体的に示しています。

●「評価の観点と方法の例」

算数科の教科特性（毎時間少しずつでも差異がある内容を学習することが多い）から、毎時の目標に即して具体的に示しています。

ただし、これらすべてを、全児童の学習状況を記録するために活用することは現実的ではありません。すなわち、本資料に示した評価規準の例を活用する場合、それぞれを記録に生かす評価規準とするか、今後の指導に生かす評価規準とするかを、指導者が判断した上で活用することを想定しています。

なお、記録に生かす評価機会の例として、右記のように評価の観点名に「アミ」をしていますので、1 つの手がかりとしてご活用ください。

● 記録に生かす評価機会設定の方針

毎時の評価規準	
記録に生かす 評価規準の例	指導に生かす 評価規準の例

【思判表】比例の関係を
使った体積の求め方を考
え、説明している。【観察・
ノート】

単元の目標や学習内容、指導者のねらいなどにより、どのタイミングで記録に生かす評価機会を設定するかは異なります。したがって、一概に機会設定の方針を定めることは困難ですが、以下、本資料における大まかな方針を示しておきます。

・「知識・技能」

教科書単元末の練習問題に取り組む際など、単元の終末に記録する。

・「思考・判断・表現」および「主体的に学習に取り組む態度」

数学的な見方・考え方を単元を通して繰り返し働かせていく、という算数科の学習の特性から、これら2観点については単元前半から後半に向けて徐々に高まることが考えられるため、小単元や単元の後半の時間、および単元の終末に記録する。

単元名	学びのとびら			教科書のページ	上 p.2～7
配当時数	1 時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要領の内容	第3学年の内容

時	目標	学習活動
1	・算数科の学び方、問題解決の方法やノートをつくり方を共有したり、教科書の使い方を確認したりして、子どもたちが自ら教科書を有効に活用して、主体的、対話的で深い学びを実現できるようにする。 上p.2～7	①「もくじ」(5分) 表紙裏～p.1 ・「前の学習」や「後の学習」が示されていることにふれ、算数の学習はこれまでの学習を基に積み重ねられていること、以後の学習へつながっていることに気づかせる。また、p.1 下欄を見て、前学年までに働かせ、成長してきた数学的な見方・考え方を想起させる。 ・表紙裏ページを見て、デジタルコンテンツが設定されていることやその使用方法、使用上の留意点にふれる。 ②「授業ページ」(30分) p.2～3 ・前学年までの学習で解決できる問題について、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を実際に遂行することを通して、算数科における学び方や問題解決の方法を認識させる。 ③「算数マイノートをつくろう」(7分) p.4～5 ・「授業ページ」におけるノートの例を参考にしながら、ノートのつくり方を学級で共有する。 ④「“新しい算数”を使った学習の進め方」(3分) p.6～7 ・教科書の構成や記号の意味について調べたいときには、随時本ページを見るとよいことを伝える。 ・巻末にはオプション教材集「新しい算数 プラス」が設定されていること、その中の「ほじゅうのもんだい」(補充問題)、「ふりかえりコーナー」(知識の振り返り)、「おもしろもんだいにチャレンジ」(数学の世界での発展)があることを紹介し、適宜活用するとよいことを知らせる。 ※「指導者・保護者のみなさまへ」について これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え、子どもたちが学習習慣(特に家庭での自学自習)を身につけるためには家庭での理解・協力が不可欠であると考え、掲載したものである。保護者の方々とも連携を図りながら、教科書を有効に活用していただきたい。

単元名	1. 1 億より大きい数を調べよう [大きい数のしくみ]			教科書の ページ	上 p.8～19, 150
配当時間	7 時間	活動時期	4 月中旬～下旬	学習指導要 領の内容	A(1)ア(ア), イ(ア) 内容の取扱い(1)(3)

単元の目標		億や兆の単位について知り，十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法（万進法）に基づき大きな数の読み方や計算の仕方を考えるとともに，整数の表し方に関わる数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	億や兆の単位を知り，十進位取り記数法についての理解を深めるとともに，10 倍や 1/10 にした数，被乗数と乗数が 3 位数の整数の乗法計算をすることができる。
	思考・判断・表現	整数の仕組みや表し方に着目し，億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え，大きな数どうしの大きさの比べ方や表し方を統合的にとらえ説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	億や兆の仕組みや表し方について，統合的にとらえた過程や結果を振り返り，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 大きい数のしくみ 上p.8～13 2 時間		★他教科との関連: 英語	
1	[プロローグ] 上p.8 ・一億以上の数の構成や読み方，書き方や一億，十億，百億，千億の数の大きさと命数法，記数法を，数の見方や既習の整数の表し方を基に考え，説明することができる。 上p.9～11	①p.8 の図を提示し，日本の都道府県の人口を話題として取り上げ，既習の数の読み方を振り返るとともに，未習の一億より大きい数について考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①日本の人口の数の読み方を考える。 ②世界の人口の数の読み方を考える。 ③「一億」「十億」「百億」「千億」の意味を知る。	【思判表】億の単位を用いた数について，既習の一億までの数の仕組みを基に考え，説明している。 【観察・ノート】 【態度】億の単位を用いた整数の仕組みや表し方を既習の整数の学習から類推して考えようとしている。【観察・ノート】
2	・一兆以上の数の構成や読み方，書き方や一兆，十兆，百兆，千兆の数の大きさと命数法，記数法を理解する。 上p.11～13	①リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの開催予算の数の読み方を考える。 ②「一兆」「十兆」「百兆」「千兆」の意味を知る。 ③整数の位取りの仕組みをまとめる。 ④万進法を用いて，大きい数を読んだり書いたりする。 ⑤「ますりんつうしん」を読み，日常生活では大きい数を 3 桁ごとに区切る表し方があることに関心をもつ。	【知技】兆の単位を用いた数についての命数法や記数法を理解し，読んだり書いたりすることができる。【観察・ノート】 【態度】十進位取り記数法や万進法のよさを振り返り，生活に生かそうとしている。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(2) 10 倍した数, 1/10 にした数 上p.14~15 2 時間			
3	・整数を 10 倍した数や 1/10 にした数について, 既習の万の単位までの十進位取り記数法の仕組みを基に考え, 説明することができる。 上p.14	①25 億を 10 倍した数や 1/10 にした数の並び方を比べる。 ②位に着目させ, 大きい数を 10 倍した数や 1/10 にした数でも位の変わり方は変わらないことをまとめる。	【知技】整数を 10 倍した数や 1/10 にした数を求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】整数の仕組みに着目して, 十進位取り記数法の仕組みを基に 10 倍, 1/10 にした数の位の変わり方を考え, 説明している。【観察・ノート】
4	・0 から 9 までの数字で, どんな大きさの整数でも表せることを理解する。 上p.15	①整数は, 各位にその位の数が何こ分であるかを表していることを知る。 ②電卓を用いて, 数の表し方の仕組みを考える。 ③10 個の数字で, どんな大きさの整数でも表せることをまとめる。 ④0 から 9 までの数字を使って, 10 桁の整数をつくる。	【知技】十進位取り記数法の考えを基に, 整数の表し方を理解し, 条件に合った整数を見つけることができる。【観察・ノート】 【思判表】0 から 9 までの数字で, どんな数でも表せるという十進位取り記数法の仕組みをまとめ, 説明している。【観察・ノート】
—		【発展】 ①「ますりんつうしん」を読み, 兆より大きい数の単位があることを知り, 大きい数への関心をもつ。	
(3) かけ算 上p.16~17 2 時間			
5	・3 位数×3 位数の筆算の仕方を理解し, その計算の答えを求めることができる。 上p.16	①365×148 の筆算の仕方を, 既習の筆算を基に考える。 ②四則のそれぞれの解, 「和」「差」「積」「商」を知る。	【知技】3 位数×3 位数の筆算の仕方を, 既習の筆算や十進位取り記数法の仕組みを用いて答えを求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】3 位数×3 位数の筆算の仕方について, 既習の筆算の仕方を基に考え, 説明している。【観察・ノート】
6	・乗数に 0 を含む乗法の筆算や末尾に 0 のある数の乗法の簡便な筆算の仕方を十進位取り記数法の仕組みを基に考え, 説明することができる。 上p.17	①796×407 の筆算の簡便な仕方を考える。 ②5400×320 の簡便な筆算の仕方を考える。	【知技】十進位取り記数法の仕組みに着目して, 乗数に 0 を含む乗法の筆算や末尾に 0 のある数の乗法の計算の答えを求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】十進位取り記数法の仕組みに着目して, 簡便な筆算の仕方を考え, 説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
まとめ 上p.18～19, 150 1時間			
7	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上p.18～19	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】基本的な問題を解決することができる。【観察・ノート】 【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。【観察・ノート】
【発展】 巻末 p.150 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み、単元の学習内容を基に一億より大きい数についての理解を深める。			

単元名	2. グラフや表を使って調べよう [折れ線グラフと表]			教科書の ページ	上 p.20～34
配当時数	9 時間	活動時期	4 月下旬～ 5 月上旬	学習指導要 領の内容	D(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(9)(10)

単元の目標		折れ線グラフの特徴や用い方、分類整理の方法について理解し、それらを活用してデータを折れ線グラフに表したり読み取ったりするとともに、数学的表現を適切に活用してデータの特徴や傾向に着目し、問題解決のためのグラフを選択・判断することを通して、結論について考察する力を養い、データを折れ線グラフに表し、問題解決のため情報を読み取り、考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	折れ線グラフの特徴や用い方、データを二次元表に分類整理することを理解し、それらを活用してデータを折れ線グラフに表したり、それを読み取ったりすることができる。
	思考・判断・表現	データを目的に応じて分類整理し、それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切なグラフを選択して判断し、結論について考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程やデータを分類整理した結果、折れ線グラフを活用した過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 折れ線グラフ 上p.20～27 5 時間		★他教科との関連:理科	
1	[プロローグ] 上p.20 ・折れ線グラフの特徴や読み取り方を理解し、情報を適切に読み取ることができる。 上p.21～22	①p.20 の神戸とリオデジャネイロの春・冬の写真を提示し、自由な話し合いなどを通して気温の違いを話題として取り上げるとともに、データを折れ線グラフに分かりやすく表したり、折れ線グラフの特徴や傾向を読み取ったりするという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①神戸の気温の変わり方を分かりやすく表すには、どんなグラフにしたらよいか考える。 ②折れ線グラフの特徴や読み取り方について知る。 ③折れ線グラフの横軸には時間的変化が表されていることを知る。	[知技]折れ線グラフの特徴や読み取り方を理解し、情報を適切に読み取ることができる。【観察・ノート】 [態度]気温の変わり方を折れ線グラフで表すことのよさを振り返り、今後の学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
2	・折れ線の傾きと事象の変化の度合いの関係を理解し、説明することができる。 上p.23	①気温の変わり方を調べるとき、折れ線グラフのどこに注目すればいいかを考える。 ②折れ線の傾きに注目して、折れ線グラフから情報を読み取る。 ③折れ線の傾きと変化の度合いの関係をまとめる。	[知技]折れ線の傾きと変わり方の関係を用いて、折れ線グラフから情報を読み取ることができる。【観察・ノート】 [思判表]折れ線の傾きに着目して、気温の変わり方について考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
3	・折れ線グラフをかき、グラフの特徴や気温の変わり方を読み取り、比較することができる。 上p.24～25	①リオデジャネイロの1年間の気温の変わり方を折れ線グラフに表す。 * デジタルコンテンツ設定有 ②神戸とリオデジャネイロの気温のグラフを重ねて、違いを読み取り、気づいたことを話し合う。	【知技】折れ線グラフのかき方を理解し、データをグラフにかき表すことができる。【観察・ノート】 【思判表】重ねてかいた折れ線グラフから、気温の変わり方に着目して特徴を読み取り、説明している。【観察・ノート】
4	・波線の意味や折れ線グラフの表し方の工夫について理解する。 上p.26	①波線で目盛りの途中を省略したグラフ用紙にリオデジャネイロの1年間の気温の変わり方を折れ線グラフで表す。 ②同じデータを表した p.24 の折れ線グラフと比較する。 ③目盛りにかき入れた波線の意味を知る。 ④縦軸の目盛りのとり方が異なる2つの折れ線グラフを比較し、特徴を知る。	【知技】目盛りの途中を省略したグラフについて、表し方の工夫を理解している。【観察・ノート】 【思判表】1 目盛りの長さに着目して、折れ線グラフの表し方や読み取り方を考え、説明している。【観察・ノート】
5	・折れ線グラフの読み取り方の工夫について、既習のグラフの特徴や読み取りを基に考え、説明することができる。 上p.27	①1 日の気温の変わり方のグラフを見て、気づいたことを話し合う。 ②折れ線グラフでの表し方や読み取る際の注意点を考える。 ③グラフから推測される中間値の正確性を考える。	【思判表】横軸の数値が等間隔でないことに着目して、グラフから推測される中間値の正確性について考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】折れ線グラフを用いる上での注意点等を振り返り、今後の学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
(2) 整理のしかた 上p.28～31 2 時間			
6	・データを2つの観点から分類整理する方法や二次元表の表し方、特徴の調べ方を理解する。 上p.28～29	①けが調べのデータを、一次元表を基に種類と場所の2つの観点で整理する方法を考える。 ②けが調べのデータを二次元表に整理する。 ③二次元表からデータの特徴を考える。	【知技】二次元表の特徴を用いて、2つの観点からデータを分類整理することができる。【観察・ノート】 【思判表】目的に応じて、異なる観点から二次元表での表し方を考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
7	2つの分類項目をもつデータを、2つの観点から分類整理し、二次元表に表すことができる。 上p.30～31	①本の利用の様子のデータを一次元表に整理し、先週と今週でそれぞれ本を借りた人と借りなかった人の様子を、分かりやすく表すには、どう整理したらよいか考える。	【知技】2つの分類項目をもつデータを、2つの観点から分類整理する方法や、4つの項目に分類した二次元表の読み取り方を理解している。【観察・ノート】 【態度】データを二次元表に整理し、簡潔にとらえられるよさを振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしている。【観察・ノート】
まとめ 上p.32～34 2時間			
8	単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 上p.32	[いかしてみよう] ①グラフを組み合わせると、2つの関係が分かりやすくなることを確認する。	【思判表】学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。【観察・ノート】 【態度】学習内容を生活に生かそうとしている。【観察・ノート】
9	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上p.33～34	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】基本的な問題を解決することができる。【観察・ノート】 【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。【観察・ノート】

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.35
配当時数	—	活動時期	5月上旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	既習内容の理解を確認する。 上p.35	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】 既習内容に関する問題を解決することができる。 【観察・ノート】

単元名	3. わり算のしかたを考えよう [わり算の筆算(1)－わる数が1けた]			教科書の ページ	上 p.36～54
配当時間	11 時間	活動時期	5 月中旬～ 6 月上旬	学習指導要 領の内容	A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(2)

単元の目標		2～3 位数を 1 位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、数量の関係に着目して、除法計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりする力を養い、既習の基本的な計算を基に考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	既習の乗法九九を 1 回用いて商を求める計算及び簡単な 2 位数を 1 位数でわる計算の方法を活用し、2～3 位数÷1 位数の計算をすることができる。
	思考・判断・表現	数の見方や構成に着目し、計算の仕方を考え、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	2～3 位数÷1 位数の除法の計算方法を、既習の基本的な計算を基に考えたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 何十、何百のわり算 上p.36～38 1 時間			
1	[プロローグ] 上p.36 ・ 10 や 100 のまとまりを用いて、乗法九九 1 回の適用で商が何十や何百になる除法(余りなし)の計算の仕方を考え、説明することができる。 上p.37～38	①p.36 を提示し、除数が 4 で被除数が 24 や 30 の場合の除法計算について振り返り、被除数が大きくなったときの除法計算について考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①立式し、その式になる理由を考える。 ②$80 \div 4$ の計算の仕方を考える。 ③$600 \div 3$ の計算の仕方を考え、説明する。 ④計算練習をする。	【知技】既習の計算方法を用いて、商が何十や何百になる除法の答えを求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】10 や 100 のまとまりに着目して、商が何十や何百になる除法の計算方法を考え、説明している。【観察・ノート】
(2) わり算の筆算(1) 上p.39～46 6 時間			
2	・ 2 位数÷1 位数 (余りなし) の筆算の仕方を既習の除法の計算方法を基に考え、理解する。 上p.39～41	①問題場面から数量の関係をとりえ、立式する。 ②$72 \div 3$ の計算の仕方を考える。	【知技】既習の除法計算を用いて 2 位数÷1 位数 (余りなし) の計算の答えを求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】数のまとまりや既習の除法の計算方法に着目して、2 位数÷1 位数 (余りなし) の計算方法を考え、図を用いながら説明している。【観察・ノート】
3		①$72 \div 3$ の筆算の仕方をまとめる。 ②$72 \div 3$ の答えの確かめをする。 ③計算練習をする。	

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
4	・2位数÷1位数(余りありで、各位ともわり切れない)の筆算の仕方を既習の除法の計算方法を基に考え、計算することができる。 上p.42～43	①問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ②$76 \div 3$の筆算の仕方を考える。 ③$76 \div 3$の計算の検算をする。 ④余りや各位の商の大きさに着目し、2位数÷1位数の筆算の誤りに気づき、説明する。 ⑤計算練習をする。	【知技】既習の除法計算を用いて2位数÷1位数(余りありで、各位ともわり切れない)の計算の答えを求めることができる。 【観察・ノート】 【思判表】既習の除法の計算方法に着目して、2位数÷1位数(余りありで、各位ともわり切れない)の計算方法や検算方法を考え、説明している。【観察・ノート】
5	・2位数÷1位数(余りありで、十の位でわり切れる)の筆算の仕方を既習の筆算の仕方を基に考え、その計算方法を説明することができる。 上p.44	①$86 \div 4$、$62 \div 3$の筆算の仕方を考える。 ②計算練習をする。 ③「基準量」や「比較量」から「倍」を求める練習問題をする。	【知技】既習の筆算の仕方をを用いて、2位数÷1位数(余りありで、十の位でわり切れる)の筆算ができる。【観察・ノート】 【思判表】既習事項との違い(十の位でわり切れること)に着目して、2位数÷1位数(余りありで、十の位でわり切れる)の筆算の仕方を考え、説明している。【観察・ノート】
6	・3位数÷1位数=3位数(各位ともわり切れない、及び一の位でわり切れる)の筆算の仕方を、既習の除法の筆算の仕方を基に考え、説明することができる。 上p.45	①問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ②$734 \div 5$の筆算の仕方を考える。 ③$734 \div 5$の筆算の仕方をまとめる。 ④$734 \div 5$の計算の検算をする。 ⑤計算練習をする。	【知技】既習の筆算の仕方をを用いて、3位数÷1位数=3位数(各位ともわり切れない、及び一の位でわり切れる)の筆算ができる。【観察・ノート】 【思判表】既習の2位数÷1位数の筆算の手順に着目して、3位数÷1位数の筆算の仕方を具体物や式を用いて考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
7	・3位数÷1位数=3位数（商に空位を含む、及び百の位や十の位でわり切れる）の筆算の仕方を、既習の除法の筆算の仕方を基に考え、説明することができる。 上p.46	①843÷4, 619÷3 の筆算の仕方を考える。 ②計算練習をする。 ③「ますりんつうしん」を読み、3年で学習した除法も筆算で計算できることを知り、筆算の理解を深める。	【知技】3位数÷1位数=3位数（商に空位を含む、及び百の位や十の位でわり切れる）の筆算ができる。【観察・ノート】 【思判表】既習の3位数÷1位数の筆算の手順に着目して、3位数÷1位数（商に空位を含む、及び百の位や十の位でわり切れる）の筆算の仕方を考え、説明している。【観察・ノート】
(3) わり算の筆算(2) 上p.47～49 1時間			
8	・3位数÷1位数=2位数（首位に商がたたない）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 上p.47～49	①問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ②256÷4 の筆算の仕方を考える。 ③256÷4 の筆算の仕方をまとめる。 ④256÷4 の計算の検算をする。 ⑤計算練習をする。	【知技】既習の除法の筆算の仕方をを用いて、3位数÷1位数=2位数（首位に商がたたない）の計算の答えを求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】筆算の仕方について、10のまとまりに着目して、具体物や式を用いて筆算の仕方を考え、説明している。【観察・ノート】
(4) 暗算 上p.50～51 1時間			
9	・2位数÷1位数=2位数の除法の暗算と、10, 100の倍数（3位数）を1位数でわる除法の暗算の仕方を計算のきまりを基に考え、説明することができる。 上p.50～51	①74÷2 の暗算の仕方を考える。 ②740÷2 の暗算の仕方を考える。 ③暗算の練習をする。 ④「ますりんつうしん」を読み、世界の国々のわり算の筆算の仕方を比べ、筆算の理解を深める。	【思判表】2～3位数÷1位数の暗算の仕方を、被除数を分解したり、被除数の相対的な大きさをとらえたりして、既習の暗算の仕方に着目して考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】暗算した過程を振り返り、自分に合った計算の仕方を考え、今後の学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
まとめ 上p.52～54 2時間			
10	・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 上p.52	【いかしてみよう】 ①わり算の筆算を活用した問題に取り組む。	【思判表】学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。【観察・ノート】 【態度】学習内容を生活に生かそうとしている。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
11	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上p.53～54	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】 基本的な問題を解決することができる。 【観察・ノート】 【思判表】 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。 【観察・ノート】 【態度】 単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。 【観察・ノート】

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.55
配当時数	—	活動時期	6 月上旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	既習内容の理解を確認する。 上p.55	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】 既習内容に関する問題を解決することができる。 【観察・ノート】

単元名	4. 角の大きさの表し方を調べよう [角の大きさ]			教科書の ページ	上 p.56～73
配当時数	9 時間	活動時期	6 月上旬～中旬	学習指導要 領の内容	B(5)ア(7)(イ), イ(7)

単元の目標		角の大きさについて単位と測定の意味について理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して角の大きさや図形について考察する力を養い、角を測定した経験を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	角の大きさを回転の大きさとしてとらえることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位（度（°））や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりすることができる。
	思考・判断・表現	図形の角の大きさに着目し、角の大きさや三角形などの図形を考察し、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	分度器を用いて角の大きさを測定するなどの数学的活動を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 角の大きさ 上p.56～70 7 時間			
1	[プロローグ] 上p.56 ・半直線を回転させると、いろいろな大きさの角ができることを理解する。 上p.57～58	①p.56 の図を提示し、角の大きさを比べる活動を通して、角の大きさは正確に表現できないことや辺の長さによらないことなどを確認しながら、辺の開き具合で決まる角の大きさを数で表すという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①巻末折り込みの 2 枚の円を組み合わせていろいろな角をつくり、角の大きさがどのように変わるか調べる。 ②角の大きさを、「直角」を単位にして表す。 * デジタルコンテンツ設定有	【知技】半直線の回転を用いて、角の大きさや角のでき方を理解している。 【観察・ノート】 【思判表】半直線を半回転や 1 回転させたときの角の大きさを、任意の単位「直角」に着目してとらえ、説明している。【観察・ノート】
2	・分度器の観察を通して、角の大きさの単位「度（°）」を知り、角の大きさの表し方を理解する。 上p.59	①分度器の目盛りの構造を調べる。 ②角度の単位「度（°）」と、1 直角＝90° の関係を知る。	【知技】分度器の観察において分かったことを用いて、角の大きさを表す単位「度（°）」や角度、1 直角＝90° の関係を理解している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
3	・分度器を用いて角の大きさを測定することができる。 上p.60～62	①分度器を使った角度の測定の仕方を 知り、いろいろな角度を測定する。 * デジタルコンテンツ設定有	[知技] 分度器を用いて、 いろいろな角度をはかる ことができる。 【観察・ノ ート] [思判表] 90° より大き いか小さいかに着目して見 当をつけたり、三角定規 の角や対頂角の大きさを 調べたりして、考えたこ とを説明している。 【観 察・ノート]
4		①90° より小さいか、大きい かの見当をつけてから角度 を測定する。 ②三角定規のそれぞれの角 度を知る。 ③2直線が交わってできる 向かい合った角の大きさ を調べたり、計算したりす る。	
5	[今日の深い学び] ・180° より大きい角度の 測定の仕方を、既習の分度 器を用いた角度の測定の 仕方を基に考え、説明す る。 上p.63～67	①180° より大きい角度の 工夫した測定の仕方を考 える。 * デジタルコンテンツ設定有 ②友達の図を見て、その 考えを式に表したり、説 明したりする。 * デジタルコンテンツ設定有	[思判表] 180° や 360° の角に着目して、図や式 から他者が考えた過程を 読み取り、式にしたり説 明したりしている。 【観 察・ノート] [態度] 対話的に粘り強 く問題解決に取り組むと ともに、180° より大き い角度の測定の仕方を考 えた過程を振り返り、学 習に生かそうとしている。 【観察・ノート]
6	・分度器を使って角をか いたり、三角形をかいたり することができる。 上p.68～70	①決められた一辺の大き さと 2 つの角から、三角 形をかく方法を考える。 ②分度器を使った角のか き方や三角形のかき方を 知る。 * デジタルコンテンツ設定有	[知技] 分度器を用いて 角をかいたり、三角形を かいたりすることができる。 【観察・ノート] [思判表] 一辺とその両 端の角に着目して、三角 形のかき方を考え、説明 している。 【観察・ノート]
7		①いろいろな大きさの角 をかく。 ②決められた一辺の大き さと 2 つの角から、三角 形をかく練習をする。 ③コンパスを用いて正三 角形をかき、3 つの角度 を測定し、全て等しく 60° であることを確認する。	

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
まとめ 上p.71～73 2時間			
8	単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 上p.71	[いかしてみよう] ①坂道分度器を作り、坂道の角度を測定する。	【思判表】学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。 【観察・ノート】 【態度】学習内容を生活に生かそうとしている。【観察・ノート】
9	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上p.72～73	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】基本的な問題を解決することができる。【観察・ノート】 【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。【観察・ノート】

単元名	5. 小数のしくみを調べよう [小数のしくみ]			教科書のページ	上 p.74～91
配当時数	13 時間	活動時期	6 月下旬～ 7 月中旬	学習指導要領の内容	A(4)ア(イ)(ウ), イ(ア)

単元の目標		小数の意味や表し方について理解し、加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の仕組みや計算の仕方を考え、十進位取り記数法を基に整数や小数の仕組みを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	1/100 の位、1/1000 の位の小数の表し方や仕組みについて理解し、それらを活用して加法や減法の計算をすることができる。
	思考・判断・表現	1/10 未満の数の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数の加法や減法の計算の仕方、数の相対的な大きさについて考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	1/10 未満の小数の表し方及び加法や減法の計算の仕方について、十進位取り記数法のよさや整数や小数の仕組みと関連づけて考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 小数の表し方 上p.74～78 2 時間			
1	[プロローグ] 上p.74 ・1/10 の単位に満たない大きさの表し方を理解し、1/100 の位までの小数の書き方、読み方を理解する。 上p.75～76	①p.74 の写真を提示し、身の回りから小数表示のものを話題として取り上げる活動を通して、数には小数第一位未満のものもあることに気づくとともに、小数の仕組みや表し方について理解を深めるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①ポットに入る水のかさを調べ、0.1L より小さいはしたの表し方を考える。 ②1/100 の位までの小数の書き方と読み方をまとめる。	[知技]0.1L を基に、1/100 の位までの小数の書き方や読み方を理解している。【観察・ノート】 [態度]既習の整数や小数の表し方や仕組みを振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
2	・1/1000 の位までの小数の書き方、読み方を知り、小数の表し方について理解する。 上p.77～78	①新幹線の線路の幅の 1.435m という数について、それぞれの位の数字が表す大きさを調べる。 ②0.001m の書き方と読み方を知る。 ③1km325mを km単位で表し、単名数の表し方を知る。	[知技]1/100 の位までの小数の書き方や読み方を用いて、1/1000 の位までの小数の表し方を理解している。【観察・ノート】 [思判表]前時に学習した小数の書き方や読み方を基に、0.01 未満のはしたの数の表し方に着目して、1/1000 の位までの小数の表し方を考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(2) 小数のしくみ 上p.79～83 4時間			
3	・既習の整数の仕組みに着目して、1 と 0.1, 0.01, 0.001 の関係を考え、説明することができる。 上p.79～80	①1, 10, 100, 1000 の関係を確認する。 ②1, 0.1, 0.01, 0.001 の関係を面積図を用いて調べる。 ③4.384 の数の構成を調べる。 ④4.384 の位取りを調べる。 ⑤「1/100 の位 (小数第二位)」「1/1000 の位 (小数第三位)」の意味を知る。	【知技】既習の 1/10 の位の仕組みを用いて、1/100 の位や 1/1000 の位の小数の読み方や表し方を理解している。【観察・ノート】 【思判表】整数や 1/10 の位の仕組みに着目して、小数の構成について考え、説明している。【観察・ノート】
4	・十進位取り記数法を用いて、小数の大小関係について理解する。 上p.81	①位取りの表を用いて小数の大小を比べる。 ②数直線の 1 目盛りの大きさに着目して、小数を数直線に表す。 ③小数の大小関係を不等号に表す。	【思判表】位取りの表を用いて、既習の整数の比べ方に着目して、小数の大小関係を比較する方法を考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】小数の仕組みを整数の仕組みと統合的にとらえた活動を振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
5	・位の変わり方に着目して、小数を 10 倍した数や 1/10 にした数について考え、説明することができる。 上p.82	①0.74 を 10 倍した数や 1/10 にした数を、位取りの表を用いて数の並び方を比べる。 ②小数を 10 倍した数や 1/10 にした数についてまとめる。	【知技】整数の仕組みを用いて、小数を 10 倍した数や 1/10 にした数について理解している。【観察・ノート】 【思判表】整数の仕組みや小数を 10 倍した数、1/10 にした数の並びに着目して、小数の仕組みについて考え、説明している。【観察・ノート】
6	・面積図を用いて、0.01 の大きさに着目して、小数の相対的な大きさについて考え、説明することができる。 上p.83	①2.45 は 0.01 の何こ分か、面積図を見て考える。 ②0.01 を基に、小数の数の大きさについて考える。	【知技】小数について、0.01 の単位を用いて相対的な大きさをとらえることができる。【観察・ノート】 【思判表】1/100 の位の単位に着目して、図や位取り表を使って小数の相対的な大きさについて考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(3) 小数のたし算とひき算 上p.84～88 5時間			
7	・1/100の位, 1/1000の位の小数の加法の筆算の仕方を考え, その計算を説明することができる。 上p.84～85	①1.75+2.64の計算の仕方を考える。 ②小数の加法の筆算の場合も整数の加法の筆算のように位を揃えて筆算すればよいことをまとめる。	【知技】 整数の加法の計算方法や十進位取り記数法を用いて小数の加法の計算をすることができる。 【観察・ノート】 【思判表】 1/100の位, 1/1000の位の小数の加法の筆算の仕方について, 既習の整数の場合を基にして考え, 式を用いて説明している。 【観察・ノート】
8		①和の0.800は0.8であることを確かめる。 ②小数の桁数が揃っていない場合の筆算の仕方を考える。 * デジタルコンテンツ設定有	
9	・1/100の位, 1/1000の位の小数の減法の筆算の仕方を考え, その計算を説明することができる。 上p.86～87	①3.64-2.76の計算の仕方を考える。 ②小数の減法の筆算の場合も整数の減法の筆算のように位を揃えて筆算すればよいことをまとめる。	【知技】 整数の減法の計算方法や十進位取り記数法を用いて小数の減法の計算をすることができる。 【観察・ノート】 【思判表】 1/100の位, 1/1000の位の小数の減法の筆算の仕方について, 既習の整数の場合を基にして考え, 式を用いて説明している。 【観察・ノート】
10		①小数の桁数が揃っていない場合の筆算の仕方を考える。 * デジタルコンテンツ設定有 ②「ますりんつうしん」を読み, 小数の歴史について関心をもつ。	
11	・小数の見方について, 既習の数直線や多様な数の表し方を基に考え, 説明することができる。 上p.88	①3.45を数直線上に表す。 ②整数と小数の和でみたり, 0.01の何十分ととらえたりするなど, 3.45のいろいろな表し方を考える。	【知技】 小数で表された数を多様な見方を用いて表したり, とらえたりすることができる。 【観察・ノート】 【態度】 数学的表現を用いて, 小数を多様な見方で表したりとらえたりしたことを振り返り, 学習に生かそうとしている。 【観察・ノート】
まとめ 上p.89～91 2時間			
12	・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し, 問題を解決する。 上p.89	[いかしてみよう] ①小数や長さの単位変換を活用し, 問題に取り組む。	【思判表】 学習内容を適切に活用して筋道立てて考え, 問題を解決している。 【観察・ノート】 【態度】 学習内容を生活に生かそうとしている。 【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
13	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上p.90～91	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】基本的な問題を解決することができる。【観察・ノート】 【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。【観察・ノート】

単元名	考える力をのばそう「ちがいに注目して」			教科書の ページ	上 p.92～93
配当時数	1 時間	活動時期	7 月中旬	学習指導要 領の内容	A(6)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	分配や移動を伴う 2 量の差に着目し、問題構造を図に表して問題を解決することを通して、問題構造を簡潔にとらえられる図のよさに気づくとともに、問題を解決する能力を高める。 上p.92～93	①問題の構造を、分配や移動を伴う 2 量の差に着目して、線分図に表して考える。 ②上で表した図を用いて、説明する。 ③適用問題に取り組む。	【思判表】分配や移動を伴う 2 量の差に着目して、関係を単純化してとらえ、言葉や図、式を用いて考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】図を利用し、問題構造をとらえ、解決した過程を振り返り、価値づけている。【観察・ノート】

単元名	そろばん			教科書のページ	上 p.94～95
配当時数	2 時間	活動時期	7 月中旬	学習指導要領の内容	A(8)ア(7), イ(7)

単元の目標		そろばんの仕組みについて理解し、加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の計算の仕方を考える力を養い、そろばんの仕組みを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に生かそうとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	そろばんの仕組みを活用して億や兆の大きい数や小数の加法及び減法の計算をすることができる。
	思考・判断・表現	十進位取り記数法に着目し、そろばんを用いて計算する方法を考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	そろばんの仕組みと数の仕組みを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) そろばん 上p.94～95 2 時間			
1	・そろばんを用いた整数（億や兆の単位を含む数）や小数の表し方を理解する。 上p.94	①そろばんの各部分の名称を振り返るとともに、一億の位などの整数の位や小数の位の位置を知り、そろばんにいろいろな大きさの数を入れる。 * デジタルコンテンツ設定有	【知技】十進位取り記数法を用いて、整数や小数の表し方を理解している。【観察・ノート】 【思判表】万の単位までの既習のそろばんの仕組みに着目して、億や兆、小数の表し方を考え、説明している。【観察・ノート】
2	・そろばんを用いて小数や億や兆の単位を用いた簡単な加減計算ができる。 上p.95	① $8.42+1.3$, $8+4.6$, $8.42-1.3$, $8-4.6$ の計算を通して、そろばんでの小数の加減計算の仕方を考え、たし算やひき算の運珠の仕方の理解を深める。 ②小数の加減計算や億や兆の単位を用いた簡単な加減計算の練習をする。	【知技】既習の珠の操作による計算の仕方をを用いて、億や兆、小数の位の表し方を考え、説明している。【観察・ノート】 【思判表】そろばんを用いた億や兆、小数の加減計算の仕方を、十進位取り記数法の仕組みに着目して考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】そろばんの仕組みと数の仕組みを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の学習に活用しようとしていたりしている。【観察・ノート】

単元名	6. わり算の筆算を考えよう [わり算の筆算(2)－わる数が2けた]			教科書の ページ	上 p.96～113, 151
配当時間	14 時間	活動時期	9 月上旬～中旬	学習指導要 領の内容	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ), イ(ア) 内容の取扱い (2)(3)(4)

単元の目標		2～3 位数を 2 位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算を工夫したり計算の確かめをしたりする力を養い、基本的な計算を基に考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	既習の除法の筆算の仕方や数のまとまりを用いて 2～3 位数を 2 位数でわる除法の計算をすることができる。
	思考・判断・表現	数量の関係に着目して、2～3 位数を 2 位数でわる除法の計算の仕方を考え、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	2～3 位数÷2 位数の除法の計算方法を、既習の除法の計算を基に考えたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 何十でわる計算 上p.96～98 1 時間			
1	[プロローグ] 上p.96 ・10 のまとまりを用いて、何十でわる計算の仕方を理解し、説明することができる。 上p.97～98	①p.96 を提示し、既習の加減乗除の筆算について振り返り、除数が大きくなったときの除法の筆算方法について考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ②60÷20 の計算の仕方を考える。 ③60÷20 の計算の仕方をまとめる。 ④計算練習をする。 ⑤90÷20 の計算の仕方を考える。 ⑥計算練習をする。	[知技]数のまとまりや図、既習の除法を用いて何十でわる計算をすることができる。【観察・ノート】 [思判表]10 のまとまりに着目し、何十でわる計算の方法を考え、説明している。【観察・ノート】
(2) 2 けたの数でわる筆算(1) 上p.99～105 6 時間			
2	・2 位数÷2 位数（仮商修正なし）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 上p.99～101	①問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ②84÷21 の筆算の仕方を考える。 ③除数を 20（切り捨て）とみて、商の見当をつける。 ④84÷21 の筆算の仕方をまとめる。 ⑤「ますりんつうしん」を読み、商の見当をつける際、被除数と除数の両方をまるめる方法があることを知る。	[知技]既習の除法計算を基に2位数÷2位数の筆算を用いた計算をすることができる。【観察・ノート】 [思判表]除数何十の場合の計算や既習の筆算の仕方に着目し、2 位数÷2 位数（仮商修正なし）の筆算の仕方を考え、説明している。【観察・ノート】
3		①87÷21 の筆算をする。 ②87÷21 の計算の検算をする。 ③計算練習をする。	

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
4	・ 2 位数÷2 位数の筆算で、過大商をたてたときの仮商修正の仕方を理解し、その計算ができる。 上p.102	①86÷23 の筆算の仕方を考える。 ②除数を 20（切り捨て）とみて、商の見当をつける。 ③過大商の場合の仮商修正 1 回の仕方を理解し、この型の計算練習をする。 ④81÷12 の筆算の仕方を考える。 ⑤過大商の場合の仮商修正 2 回の仕方を理解し、この型の計算練習をする。	【知技】商の見当を用いて、仮商をたて過大商のときの仮商を修正し計算することができる。【観察・ノート】
5	・ 2 位数÷2 位数の筆算で、過小商をたてたときの仮商修正の仕方を理解し、その計算ができる。 上p.103	①78÷19 の筆算の仕方を考える。 ②除数を 20（切り上げ）とみて、商の見当をつける。 ③過小商の場合の仮商修正の仕方を理解し、この型の計算練習をする。	【知技】商の見当を用いて、仮商をたて過小商のときの仮商を修正し計算することができる。【観察・ノート】
6	・ 除数に着目して、2 位数÷2 位数の筆算で、除数の切り捨てや切り上げを選んで仮商をたてて計算することができる。 上p.104	①87÷25 の筆算の仕方を考える。 ②除数を切り捨てた（過大商）場合と、切り上げた（過小商）場合の筆算の仕方を比べる。 ③自分が仮商をたてやすい除数の処理の仕方を考える。 ④計算練習をする。	【思判表】除数の切り捨てや切り上げの選択方法に着目して、仮商のたて方を考え、説明している。 【観察・ノート】 【態度】これまでに養った数感覚を振り返り、学習に生かそうとしている。 【観察・ノート】
7	・ 3 位数÷2 位数＝1 位数の筆算の仮商のたて方を 2 位数÷2 位数の筆算の仕方を基に考え、説明することができる。 上p.105	①153÷24 の筆算の仕方を考える。 ②計算練習をする。	【知技】2 位数÷2 位数の筆算の仕方をを用いて、3 位数÷2 位数の筆算ができる。 【観察・ノート】 【思判表】商のたて方に着目して、3 位数÷2 位数の筆算の仕方を考え、説明している。【観察・ノート】
(3) 2 けたの数でわる筆算(2) 上p.106～108 3 時間			
8	・ 3 位数÷2 位数＝2 位数の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 上p.106～107	①問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ②345÷21 の筆算の仕方を考える。 ③345÷21 の筆算の仕方をまとめる。	【思判表】既習の除法の筆算の仕方を基に、345÷21 などの計算の仕方を図や式を用いて考え、説明している。【観察・ノート】
9	・ 2 位数÷1 位数＝2 位数の筆算の仕方をを用いて、3 位数÷2 位数＝2 位数の筆算をすることができる。 上p.107	①計算練習をする。 ②476÷15 で、除数を切り捨てた（過大商）場合と、切り上げた（過小商）場合の筆算の仕方を比べる。	【知技】既習の除法の筆算の仕方をを用いて、3 位数÷2 位数＝2 位数の筆算ができる。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
10	・ 商に 0 がたつ場合（商が何十）の簡便な筆算の仕方や、除数が 3 桁の場合の筆算の仕方を、既習の除法の筆算の仕方を基に考え、説明することができる。 上p.108	① $941 \div 23$, $960 \div 16$ の筆算の仕方を考える。 ② 計算練習をする。 ③ $732 \div 216$ の筆算の仕方を考える。 ④ 216 を 200 とみて、仮商をたてる。 ⑤ 計算練習をする。	【知技】既習の除法の筆算の仕方を用いて商に 0 がたつ場合（商が何十）の簡便な筆算の仕方や、除数が 3 桁の場合の筆算をすることができる。【観察・ノート】 【思判表】商の見当のつけ方に着目して、除数の桁数が増えても筆算の仕方が変わらないことを考え、説明している。【観察・ノート】
(4) わり算のせいしつ 上p.109～110 2時間			
11	・ 除法の性質について理解する。 上p.109	① 商が等しいわり算の式を見比べて除法の性質について考える。 ② 除法の性質をまとめる。	【知技】被除数、除数の両方に同じ数をかけても、両方を同じ数でわっても、商は変わらないという、除法の性質を理解している。【観察・ノート】 【思判表】複数の式から、被除数と除数、商の関係に着目して、除法の性質について考え、説明している。【観察・ノート】
12	・ 末尾に 0 のある数の除法の簡便な筆算の仕方を既習の除法の計算の仕方を基に考え、説明することができる。 上p.110	① $24000 \div 500$ の筆算の仕方を考え、末尾に 0 のある数の除法の簡便な筆算の仕方をまとめる。 ② $2700 \div 400$ の筆算の仕方と、末尾に 0 のある数の除法での余りの求め方を考える。 ③ 末尾に 0 のある数の除法の筆算の仕方についてまとめる。	【知技】除法の性質を用いて、末尾に 0 のある除法の簡便な筆算の仕方を理解し、計算することができる。【観察・ノート】 【思判表】除法の性質に着目して、末尾に 0 のある数の除法の簡便な筆算の仕方を考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
まとめ 上p.111～113, 151 2時間			
13 ・ 14	・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上p.111～113	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】基本的な問題を解決することができる。【観察・ノート】 【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。【観察・ノート】
・【発展】 巻末 p.151 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み、単元の学習内容を基にわり算の筆算についての理解を深める。			

単元名	倍の見方			教科書のページ	上 p.114～119
配当時数	4 時間	活動時期	9 月下旬	学習指導要領の内容	A(3)ア(イ)(6)ア(ウ) C(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることについて理解し、簡単な場合について割合を求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して二つの数量どうしの関係の比べ方を考える力を養い、割合を用いて比べた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	簡単な場合についての割合を活用して、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べることができる。
	思考・判断・表現	日常の事象における数量の關係に着目し、ある二つの数量の關係と別の二つの数量の關係について割合を用いて考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	簡単な場合について、割合を用いて比べたことを振り返り、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 倍の見方 上p.114～119 4 時間			
1	・ 倍を求めるには除法を用いればよいことを理解する。 上p.114～115	①15m が 3m の何倍かを求めるには、どんな計算をすればよいのかを数直線を基に考える。 ②「3m の□倍が 15m」の関係をおさえて、 $3 \times \square = 15$ の式で確認する。 ③基準量の何倍かを求めるには除法を用いればよいことをまとめる。	【知技】除法を用いて何倍かを求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】割合について二つの数量の關係に着目し、テープ図や数直線の図を用いて倍の意味をとらえ、説明している。【観察・ノート】
2	・ 比較量を求めるには乗法を用いればよいことを理解する。 上p.116	①180 cm の 3 倍にあたる大きさを求めるには、どんな計算をすればよいのかを数直線を基に考える。 ②基準量の何倍かにあたる量を求めるには乗法を用いることをおさえ、数量の關係をまとめる。	【知技】乗法を用いて比較量を求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】テープ図や数直線の図を用いて数量の關係に着目してその意味をとらえ、説明している。【観察・ノート】
3	・ 基準量を求めるには、□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□を求めればよいことを理解する。 上p.117	①数量の關係を数直線を基に考え、□を用いて乗法の式に表す。 ②□にあてはまる数を求めるには、除法を用いるか、数をあてはめて調べるかをすればよいことをおさえる。	【知技】数量の關係を□を用いて乗法の式に表し、基準量を求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】二つの数量の關係に着目して、テープ図や数直線の図を用いて基準量の求め方を考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
4	・ 差による比較のほかに、倍を使っても比較できることを理解する。 上p.118～119	① どちらの包帯がよく伸びるのかを考える。 ② $60 \div 30$, $45 \div 15$ の計算をして、ある数量と数量の関係と別の数量と数量の関係を倍を使って比べる。	【思判表】差で比べられない場合、割合に着目して比較する方法を考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】割合で比べる方法を生活に生かそうとしている。【観察・ノート】

単元名	7. およその数の使い方と表し方を調べよう [がい数の使い方と表し方]			教科書の ページ	上 p.120～132, 152
配当時数	8 時間	活動時期	10 月上旬～ 中旬	学習指導要 領の内容	A(2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(2)

単元の目標		概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して目的に合った数の処理の仕方を考える力を養い、概数を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。
	思考・判断・表現	日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理するよさについて考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) およその数の表し方 上p.120～127 5 時間			
1	[プロローグ] 上p.120 ・ 正確な細かい数を概数で表すことを通して、概数の意味について理解する。 上p.121～122	①p.120 の絵を提示し、同じ数が正確な数とおよその数で表されている場面对比し、自由な話し合いなどを通して、概数の用いられる目的や数の処理を場面に応じて活用するという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①町の人口 21034 人, 32756 人, 38412 人の、およその数の表し方について考える。 ②「がい数」の意味や概数を「約」を用いて表すことを知る。	[知技] 概数の意味について理解している。【観察・ノート】 [態度] 概数で表す活動を通して、大きさがとらえやすくなるなどの概数のよさを振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしている。【観察・ノート】
2	・ 四捨五入の意味とその方法を理解する。 上p.122～123	①町の小学生の人数 1263 人と 1825 人を概数で約何千人と表す仕方を考える。 ②「四捨五入」の意味や方法を知り、その方法をまとめる。	[知技] 四捨五入の意味や方法を理解している。【観察・ノート】 [思判表] 四捨五入する位に着目して、概数にする方法を考え、説明している。【観察・ノート】
3	・ 「四捨五入して○の位までの概数にする」ときの表現や四捨五入の仕方を理解する。 上p.124	①市立図書館にある本と児童書の数四捨五入して、一万の位までの概数にする仕方を考える。 ②四捨五入して、一万の位までの概数にする場合は、何の位に着目すればよいかをまとめる。	[知技] 「○の位までの概数にする」ときの四捨五入の仕方について理解し、表すことができる。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
4	・「四捨五入して上から〇桁の概数にする」ときの表現や四捨五入の仕方を理解する。 上p.125～126	①市立図書館にある本と児童書の数を見積もる。四捨五入して、上から1桁までの概数にする仕方を考える。 ②四捨五入して、上から1桁までの概数にする場合は、何の位に着目すればよいかをまとめる。	【知技】「上から〇桁の概数にする」ときの四捨五入の仕方を理解し、表すことができる。【観察・ノート】 【思判表】四捨五入して概数で表すときの言い方に着目して、四捨五入する位を考え、説明している。【観察・ノート】
5	・四捨五入して概数にする前の、もとの数の範囲や、「以上」「未満」「以下」の意味を理解する。 上p.126～127	①四捨五入して約130kmになるのは、何kmから何kmまでの間になるかを考える。 ②四捨五入して十の位までの概数にしたとき、130になる整数の範囲をまとめる。 ③数の範囲を表す言葉として、「以上」「未満」「以下」の意味を知る。 ④「ますりんつうしん」を読み、「切り捨て」や「切り上げ」の意味を知り、概数の理解を深める。	【知技】「以上」「未満」「以下」を用いて四捨五入して概数にする前のもとの数の範囲を求めることができる。【観察・ノート】
(2) がい数を使った計算 上p.128～130 2時間			
6	・概数を用いて、目的に応じ、和や差の見積もりの仕方を説明することができる。 上p.128～129	①3人の目的に応じた代金の見当のつけ方を考える。 ②目的に応じて、概数にする方法を選ぶとよいことをまとめる。	【思判表】概数で表す方法に着目して、概数を用いる目的に応じて適切に処理する方法を考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】概数を用いて見積もりをしたことを振り返り、粘り強く考え、生活に生かそうとしている。【観察・ノート】
7	・概数を用いて積や商の見積もりができる。 上p.130	①$620 \times 39$を概数で見積もる方法を考える。 ②乗法の場合、上から1桁の概数で見積もるとよいことを知り、積を概数で求める。 ③$38220 \div 39$を概数で見積もる方法を考える。 ④除法の場合も上から1桁の概数で見積もるとよいことを知り、商を概数で求める。	【知技】前時での概数を用いて計算する方法に着目し、概数を適切に用いて積や商を見積もることができる。【観察・ノート】 【態度】主体的に問題解決に取り組むとともに、概数を用いて積や商の見積もりをした活動を振り返り、学習や日常生活に生かそうとしている。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
まとめ 上p.131～132, 152 1時間			
8	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上p.131～132	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】 基本的な問題を解決することができる。 【観察・ノート】 【思判表】 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。 【観察・ノート】 【態度】 単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。 【観察・ノート】
・【発展】 巻末 p.152 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み、単元の学習内容を基に概数についての理解を深める。			

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.133
配当時数	—	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	既習内容の理解を確認する。 上p.133	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】 既習内容に関する問題を解決することができる。 【観察・ノート】

単元名	算数で読みとこう「食べ残しをへらそう」			教科書のページ	上 p.134～135
配当時数	1 時間	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	D(1)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	既習内容を活用して棒グラフや折れ線グラフ、表を考察し、問題解決能力や情報処理能力を高める。 上p.134～135	①棒グラフと折れ線グラフの重なったグラフから問題に関して予想し、話し合う。 ②問題について必要な情報は何かを考える。 ③データより 2 つの事柄の関係について話し合う。 ④問題に対し、理由を含めて話し合う。	【思判表】解決の根拠をグラフや表などに着目して、目的に応じて情報を選択して問題の解決法を考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】対話的に問題解決に取り組むとともに、グラフや表の読み取り、問題解決の結果やプロセスを振り返り、生活に生かそうとしている。【観察・ノート】

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.136
配当時数	—	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	既習内容の理解を確認する。 上p.136	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	かたちであそぼう「コンパスを使って」			教科書の ページ	上 p.138
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・コンパスを使って、いろいろな形をかいたり、円周のおよその長さを調べたりする活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。 上p.138	①ノートや工作用紙に、コンパスを使って、いろいろな形をかく。 【発展】 ①1cm の長さに開いたコンパスで円周を区切って、円周のおよその長さを調べる。	【思判表】円の中心の位置や半径に着目し、形をつくるには円をどのように組み合わせればよいかを考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】数学的活動を楽しみ、円の特徴やコンパスの仕組みを振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】

単元名	8. 計算のやくそくを調べよう [計算のきまり]			教科書のページ	下 p.2～16, 142～143
配当時数	8 時間	活動時期	10 月中旬～下旬	学習指導要領の内容	A(6)ア(ア)(ウ), イ(ア)(7)ア(ア), イ(ア)内容の取扱い(6)

単元の目標		計算の順序に関するきまりを理解し、四則に関して成り立つ性質やきまりについて理解を深められるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を表す式について考える力を養い、問題場面の数量関係について考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	四則の混合した式や () を用いた式の計算の順序を理解し、四則に関して成り立つ性質やきまりを用いて、計算の仕方を工夫することができる。
	思考・判断・表現	四則の混合した式や () を用いた式の表し方に着目し、問題場面を簡潔に表現したり、一般的に表現したりすることについて考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	() を用いて 1 つの式に表すと数量の関係を簡潔に表すことができるなどのよさを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 計算のじゅんじょ 下p.2～11 4 時間			
1	[プロローグ] 下p.2 ・ 2 つの式で表される場面について、1 つの式に表す方法を既習の計算のきまりや () を用いて考え、説明することができる。 下p.3～4	①p.2 の絵を提示し、2 人の買い物の場面とそれらを表す式の対比を通して、計算の順序に関するきまりを用いて式で表したり、四則について成り立つ性質やきまりの理解を深めたりするという単元の課題を設定する。 ①2 段階構造の問題を 1 つの式に表す方法を考える。 ② () のある式の計算順序をまとめ、その計算をする。	[知技]2 つの式で表される場面を、() を用いて 1 つの式に表すことができる。【観察・ノート】 【思判表】() の中をひとまとまりと見て、() を用いて 1 つの式に表すことを考え、説明している。【観察・ノート】
2	・ 四則混合の式の表し方や計算順序を理解し、その計算ができる。 下p.5～6	①加減と乗除の 2 段階構造の問題場面を 1 つの式に表し、その計算順序を考える。 ②乗除は、() を省いて書くことができることや加減よりも先に計算することをまとめる。	[知技]四則混合や () のある式の計算順序を理解し、計算することができる。【観察・ノート】
3		①四則混合の 3 段階構造の式の計算順序を考える。 ②四則混合や () のある式の計算順序をまとめる。 * デジタルコンテンツ設定有	

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
4	[今日の深い学び] ・ドットの数の求め方を図や式に表したり, 図や式から考え方を読み取り説明したりすることができる。 下p.7~11	①ドットの数を工夫して求め, 求め方を1つの式に表す。 * デジタルコンテンツ設定有 ②他者の考えを図や式から読み取り, 言葉や式, 図に表す。 * デジタルコンテンツ設定有	【思判表】ドットの並び方やまとまりに着目し, ドットの数の求めを図や式を用いて考え, 説明している。【観察・ノート】 【態度】自分の考えを1つの式に表したり, 図から考えを読み取ったりしたことを振り返り, 学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
(2) 計算のきまりとくふう 下p.12~14 3時間			
5	・分配法則を□や○などを使って一般的にまとめ, それを用いて計算を簡単にする工夫を考えることを通して, 分配法則についての理解を深める。 下p.12	①合計の個数の求め方を考える。 ②$(13+7) \times 6$と$13 \times 6 + 7 \times 6$とを, 等号でつなげられることを確かめる。 ③□や○などに数をあてはめ, 式が成り立つことを確かめ, 分配法則について一般的にまとめる。 ④分配法則を用いて, 計算方法を工夫する。	【知技】数や式の形に着目して, 分配法則について理解し, 計算することができる。【観察・ノート】 【思判表】数や式の形に着目して, 分配法則が適用できるかを考え, 計算方法を説明している。【観察・ノート】
6	・式にある数に着目して, 交換法則や結合法則を用いて計算を簡単にする工夫を考え, 説明することができる。 下p.13	①交換, 結合法則を用いて, 計算の工夫の仕方を考える。 ②□や○などに数をあてはめ, 式が成り立つことを確かめ, 加法と乗法の交換, 結合法則について一般的にまとめる。 ③加法についての交換・結合法則が, 小数でも成り立つことを確かめる。 ④計算のきまりを用いて, 計算方法を工夫する。	【知技】既習の加法や乗法の交換・結合法則を用いて, 工夫して計算することができる。【観察・ノート】 【思判表】小数においても加法や乗法の交換・結合法則が使えることを確認し, 計算の工夫の仕方について考え, 説明している。【観察・ノート】
7	・乗数を10倍すると積も10倍になり, 被乗数と乗数をそれぞれ10倍すると積は100倍になるという乗法の性質を理解する。 下p.14	①$3 \times 6 = 18$の式を基にして, 3×60や, 30×60の答えの求め方を考える。 ②$3 \times 6 = 18$, $3 \times 60 = 180$, $30 \times 60 = 1800$の3つの式を見比べ, 気づいたことを話し合う。 ③乗法では乗数を10倍すると積も10倍になる, 被乗数と乗数をそれぞれ10倍すると積は100倍になるという性質をまとめる。	【知技】乗法の性質を理解し, それらを用いて計算することができる。【観察・ノート】 【思判表】乗数や被乗数, 積に着目して式を比較し, 乗法の性質について考え, 説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
まとめ 下p.15～16, 142～143 1時間			
8	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下p.15～16	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】 基本的な問題を解決することができる。 【観察・ノート】 【思判表】 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。 【観察・ノート】 【態度】 単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。 【観察・ノート】
・【発展】 巻末 p. 142～143 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み、単元の学習内容を基に計算のきまりについての理解を深める。			

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	下 p.17
配当時数	—	活動時期	10 月下旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	既習内容の理解を確認する。 下p.17	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】 既習内容に関する問題を解決することができる。 【観察・ノート】

単元名	9. 四角形の特ちょうを調べよう [垂直, 平行と四角形]			教科書の ページ	下 p.18～39, 144
配当時間	13 時間	活動時期	11 月上旬～ 下旬	学習指導要 領の内容	B(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(7)

単元の目標		直線の位置関係や四角形の構成について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形の構成について考える力を養い、図形の性質を考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	直線の垂直や平行の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形の特徴について理解している。
	思考・判断・表現	辺の位置関係や構成要素に着目して、様々な四角形の性質を見いだして表現したり、様々な四角形と対角線の特徴を整理して考え、説明したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りから直線の垂直や平行の関係、様々な四角形を見いだすことで学習内容を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 直線の交わり方 下p.18～21 2 時間			
1	[プロローグ] 下p.18	① p.18 の柵の写真を提示し、4 本の直線が交わってできる四角形や直角に着目する。次に、カードにかかれた点のうち、4 つの点を選んで結び、四角形をつくる活動に取り組む。直線の交わり方や、直線が交わってできる様々な四角形の特徴を話し合う活動を通して、直線の並び方や交わり方、様々な四角形について調べるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
	・ 2 本の直線の交わり方を調べる活動を通して、垂直の意味を知り、垂直な 2 直線を弁別することができる。 下p.19～20	① 2 本の直線の交わり方を調べる。 ② 「垂直」の意味を知る。	【知技】垂直の意味を理解し、弁別することができる。【観察・ノート】 【思判表】2 直線が交わってできる角に着目して、垂直について説明している。【観察・ノート】
2	・ 三角定規を使って、垂直な直線をひくことができる。 下p.20～21	① 2 枚の三角定規を使った垂直な直線のひき方を考える。 ② 垂直な直線をひく。 * デジタルコンテンツ設定有	【知技】三角定規の直角部分を用いて、垂直な直線をひくことができる。【観察・ノート】 【思判表】垂直な直線のひき方について、三角定規の直角部分に着目して考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(2) 直線の並び方 下p.22～28 4時間			
3	2本の直線の並び方を調べる活動を通して、平行の意味を知り、その弁別ができる。 下p.22～23	①直線の並び方を調べる。 ②「平行」の意味を知る。 ③長方形の垂直な辺、平行な辺を調べる。	【知技】 平行の意味を理解し、弁別することができる。 【観察・ノート】 【思判表】 平行な2直線とは別の直線との交わり方に着目して、平行について説明している。 【観察・ノート】
4	平行な直線は他の直線と等しい角度で交わることや、平行な直線の間の距離は一定であることを理解する。 下p.23～25	①平行な直線と、それと交わる直線でできる角度を調べる。 ②平行な直線は、他の直線と等しい角度で交わることをまとめる。 ③平行な直線の幅を調べ、平行な2直線間の距離は一定であることをまとめる。 ④身の回りにある直角・平行を見つける。 ⑤「ますりんつうしん」を読み、幅が等しくても直線でなければ平行とはいわないことを知り、平行の理解を深める。	【知技】 平行な直線は他の直線と等しい角度で交わることや、平行な直線の間の距離は一定であることを理解している。 【観察・ノート】 【態度】 身の回りから垂直や平行の関係にある直線を見いだしたことを振り返り、生活に生かそうとしている。 【観察・ノート】
5	三角定規を使って、平行な直線をひくことができる。 下p.26～27	①2枚の三角定規を使った平行な直線のひき方を考える。 ②平行な直線をひく。 * デジタルコンテンツ設定有	【知技】 三角定規を用いて、平行な直線をひくことができる。 【観察・ノート】 【思判表】 平行な直線のひき方について、同位角が等しいことに着目して考え、説明している。 【観察・ノート】
6	方眼上の直線の垂直や平行の関係を理解する。 下p.28	①方眼を手がかりにして、垂直や平行な直線の見つけ方を考える。	【知技】 方眼を手がかりにした垂直や平行な直線の弁別の仕方を理解している。 【観察・ノート】
(3) いろいろな四角形 下p.29～34 4時間			
7	四角形を分類する活動を通して、台形と平行四辺形の特徴を理解する。 下p.29～30	①図を見て、四角形の仲間分けをする。 ②「台形」と「平行四辺形」を知る。 ③方眼や平行な2直線を用いて、平行四辺形や台形をかく。	【知技】 台形や平行四辺形の辺の位置関係を理解し、かくことができる。 【観察・ノート】 【思判表】 平行な辺の組数に着目して、台形や平行四辺形の特徴について説明している。 【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
8	・平行四辺形の性質について、辺の長さや角の大きさを調べたことを基に説明することができる。 下p.31	①辺の長さや角の大きさを調べ、平行四辺形の特徴を調べる。 ②平行四辺形の特徴をまとめる。 ③「ますりんつうしん」を読み、長方形と平行四辺形の共通した特徴を調べ、平行四辺形の理解を深める。	【知技】平行四辺形の辺の位置関係や長さ、角の大きさについて理解している。【観察・ノート】 【思判表】平行四辺形の辺の位置関係や長さ、角の大きさに着目して、平行四辺形の性質について考え、説明している。【観察・ノート】
9	・平行四辺形の辺の位置関係や構成要素を基に平行四辺形をかくことができる。 下p.32～33	①平行四辺形のかき方を考える。 ②平行四辺形の意味や性質を用いて、平行四辺形をかく。	【知技】平行な2直線の作図やコンパスの性質を用いて、平行四辺形をかくことができる。【観察・ノート】 【思判表】平行四辺形の辺の位置関係や長さ、角の大きさに着目して、作図方法を考え、説明している。【観察・ノート】
10	・ひし形の辺の位置関係や構成要素を基に、ひし形の特徴を調べ、かくことができる。 下p.33～34	①「ひし形」の意味を知る。 ②ひし形の性質をまとめる。 ③ひし形をかく。 ④「ますりんつうしん」を読み、正方形とひし形の共通した特徴を調べ、ひし形の理解を深める。	【知技】ひし形の特徴を理解し、半径の等しい2つの円を用いて、ひし形をかくことができる。【観察・ノート】 【思判表】ひし形の辺の位置関係や長さ、角の大きさに着目して、ひし形の特徴を見だし、かき方を説明している。【観察・ノート】
(4) 対角線と四角形の特ちょう 下p.35～36 1時間			
11	・対角線の意味と、様々な四角形の対角線の特徴を理解する。 下p.35～36	①いろいろな四角形の頂点を直線で結び、その特徴を調べる。 ②「対角線」の意味を知る。 ③いろいろな四角形の対角線の特徴を表にまとめる。	【知技】対角線を用いて、様々な四角形の特徴を理解している。【観察・ノート】 【思判表】様々な四角形の相互関係について、対角線に着目してとらえ、説明している。【観察・ノート】
まとめ 下p.37～39, 144 2時間			
12	・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 下p.37	【いかしてみよう】 ①平行四辺形のしきつめ模様や身の回りにある四角形探しに取り組む。 ②「ますりんつうしん」を読み、等脚台形とたこ形の対角線を調べ、対角線の理解を深める。	【思判表】学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。【観察・ノート】 【態度】学習内容を生活に生かそうとしている。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
13	・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下p.38～39	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】基本的な問題を解決することができる。【観察・ノート】 【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。【観察・ノート】
・【発展】 巻末 p.144 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み、単元の学習内容を基に様々な四角形の特徴についての理解を深める。			

単元名	10. 分数をくわしく調べよう [分数]			教科書のページ	下 p.40～52, 145
配当時数	9 時間	活動時期	12 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	A(5)ア(7)(イ), イ(7)

単元の目標		分数について理解を深め、同分母分数の加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数を構成する単位分数について考える力を養い、分数とその加法及び減法の計算方法について考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	分数の意味や表し方、その加法及び減法の計算方法について理解し、1 より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、簡単な場合について同値分数があることを説明したりすることができる。
	思考・判断・表現	数を構成する単位分数に着目し、同値分数や分数の加法及び減法の計算方法を考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	1 より大きい分数を仮分数や帯分数で表すことのよさや、分数を単位分数の個数でとらえ、加法及び減法の計算方法を考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 分数の表し方 下p.40～45 4 時間			
1	[プロローグ] 下p.40 ・単位分数を基に様々な分数をとらえ、真分数や仮分数、帯分数の表し方や意味を理解する。 下p.41～43	①p.40 の図を提示し、分数についてこれまでに学んできたことを振り返り、自由な話し合い活動を通して、分数の様々な表し方や計算の仕方を考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①$1/3m$ の 2 こ分, 3 こ分, 5 こ分, $1/4m$ の 3 こ分, 11 こ分の長さの表し方を考える。 ②「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を知る。	【知技】1 より大きい分数について、仮分数、帯分数の表し方を理解している。【観察・ノート】 【思判表】数を構成する単位分数に着目して、帯分数で表すことのよさについて考え、説明している。 【観察・ノート】
2	・真分数や仮分数、帯分数の特徴を理解し、図や数直線から数を読み取ったり、分数の大きさを比較したりすることができる。 下p.43	①真分数や仮分数、帯分数を分類する。 ②図や数直線から読み取った数を帯分数や仮分数に表す。 ③帯分数で表された数の大小を比較する。	【知技】1 より大きい分数を、帯分数や仮分数を用いて表すことができる。 【観察・ノート】 【思判表】1 を何等分しているかに着目して、図や数直線に表された数の大きさについて考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
3	・数直線や単位分数を基にして、仮分数を帯分数になおす方法を考え、説明することができる。 下p.44	①数直線を基に単位分数による仮分数、帯分数の構成を考える。 ②整数と同値の仮分数について調べる。 ③仮分数を帯分数や整数になおす方法を考える。	【知技】仮分数を帯分数や整数になおすことができる。【観察・ノート】 【思判表】数直線や単位分数に着目して、分数の大きさや表し方について考え、説明している。【観察・ノート】
4	・数直線や単位分数を基にして、帯分数を仮分数になおす方法を考え、説明することができる。 下p.45	①帯分数と仮分数で表された数の大きさを、数直線を用いて考える。 ②帯分数の整数部分が単位分数の何こ分かを考える。 ③単位分数を基に、帯分数を仮分数になおす方法を考える。 ④帯分数と仮分数で表された数の大きさを、不等号を用いて表す。	【知技】帯分数を仮分数になおすことができる。【観察・ノート】 【態度】数直線や単位分数に着目して分数の大きさや表し方について考えたことを振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
(2) 分母がちがう分数の大きさ 下p.46～47 1時間			
5	・数直線を用いて、異分母の同値分数や大小関係について説明することができる。 下p.46～47	①数直線を用いて、$\frac{1}{2}$, $\frac{3}{6}$, $\frac{5}{10}$ の大きさを比較する。 ②分母が異なる分数でも、大きさの等しい分数があることをまとめる。 ③分子が同じ分数では、分母が大きいほど数の小さい分数になることをまとめる。	【知技】数直線を用いて、異分母の同値分数や大小関係について理解している。【観察・ノート】 【思判表】数直線を用いて、異分母の同値分数や大小関係について考え、説明している。【観察・ノート】
(3) 分数のたし算とひき算 下p.48～50 3時間			
6	・同分母分数の加減計算の仕方を、単位分数に着目して既習の加減計算の仕方を基に考え、説明することができる。 下p.48	①問題場面から数量の関係をとらえ、立式する。 ②$\frac{4}{5} + \frac{3}{5}$ の計算の仕方を考える。 ③同分母の真分数や仮分数の加減計算の仕方をまとめる。 ④計算練習をする。	【知技】同分母の真分数や仮分数の加減の計算をすることができる。【観察・ノート】 【思判表】単位分数の個数に着目して、分数の加減計算を既習の加減計算の仕方を基に考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
7	・同分母の帯分数の加法計算の仕方を, 帯分数の構造や既習の分数の表し方を基に考え, 説明することができる。 下p.49	①1 と $3/5+2$ と $1/5$ の計算の仕方を考える。 ②整数部分, 分数部分どうしをたす方法と, 仮分数になおして計算する方法があることをまとめる。 ③計算練習をする。	【知技】帯分数の構造を用いて, 同分母の帯分数の加法計算をすることができる。【観察・ノート】 【思判表】同分母の帯分数の加法計算の仕方を, 帯分数の構造や既習の分数の表し方を基に考え, 説明している。【観察・ノート】 【態度】帯分数の加法計算を振り返り, 帯分数の減法計算に生かそうとしている。【観察・ノート】
8	・同分母の帯分数の減法計算の仕方を, 帯分数の構造や既習の加法計算を基に考え, 説明することができる。 下p.50	①同分母の帯分数の加法計算の仕方を基に, 2 と $4/5-1$ と $3/5$ の計算の仕方を考える。 ②帯分数の分数部分がひけないときは, 整数部分から繰り下げた 1 を分数になおして計算する方法と, 帯分数を仮分数になおして計算する方法があることをまとめる。 ② 計算練習をする。	【知技】帯分数の構造や加法計算を基に, 同分母の帯分数の減法計算をすることができる。【観察・ノート】 【思判表】同分母の帯分数の減法計算の仕方を, 帯分数の構造や既習の加法計算を基に考え, 説明している。【観察・ノート】
まとめ 下p.51~52, 145 1 時間			
9	・学習内容の定着を確認するとともに, 数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下p.51~52	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】基本的な問題を解決することができる。【観察・ノート】 【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら, 単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り, 価値づけたり, 今後の学習に生かそうとしていたりしている。【観察・ノート】
・【発展】巻末 p.145 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み, 単元の学習内容を基に分数と小数の関係についての理解を深める。			

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	下 p.53
配当時数	—	活動時期	12 月中旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・ 既習内容の理解を確認する。 下p.53	① 「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	11. どのように変わるか調べよう [変わり方調べ]			教科書の ページ	下 p.54～60, 145
配当時間	4 時間	活動時期	12 月中旬	学習指導要 領の内容	A(6)ア(ウ), イ(ア) C(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		伴って変わる二つの数量について、表を用いて調べたり式に表したりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して二つの数量の変化の特徴について考える力を養い、二つの数量の変化について考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	伴って変わる二つの数量の関係を、表を用いて変化の特徴を調べたり、□や○などを用いて式に表したりすることができる。
	思考・判断・表現	伴って変わる二つの数量の関係に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考え、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	主体的に問題解決に取り組むとともに、二つの数量の関係を表で調べることのよさや関係を□や○などを用いた式に簡潔に表せることのよさを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 変わり方調べ 下p.54～59 3 時間			
1	[プロローグ] 下p.54 ・伴って変わる二つの数量の関係（和が一定）について、表を用いてその関係をとらえ、□や○を使った式に表すことができる。 下p.55～56	①p.54 の絵を提示し、伴って変わる二つの量の量の変化の特徴を話し合う活動を通して、伴って変わる二つの数量の関係を調べていくという単元の課題を設定する。 ①巻末折り込みの時計盤を使って、㊦と㊧の時計盤の針が指す時刻の数の関係について調べる。 ②表を用いて、㊦の時計盤の針が指す時刻の数が1 ずつ増えると、㊧の時計盤の針が指す時刻の数がどのように変わるか調べる。 ③㊦と㊧の時計盤の針が指す時刻の数の関係を式に表す。	[知技] 伴って変わる二つの数量の関係を、表を用いて調べ、□や○を使って式に表すことができる。【観察・ノート】
2	・伴って変わる 2 つの数量の関係（差が一定）について、表を用いてその関係をとらえ、□や○を使った式に表すことができる。 下p.57	①1 辺が 1cm の正三角形を 1 列に組み合わせていくときの、正三角形の数と周りの長さの関係を調べる。 ②正三角形の数と周りの長さを表にまとめ、その関係を式に表す。 ③正三角形の数が 20 個のときの周りの長さを求める。	[知技] 伴って変わる二つの数量の関係を、表を用いて調べ、□や○を使って式に表すことができる。【観察・ノート】 [思判表] 伴って変わる二つの数量の変化の特徴に着目して、表を縦や横の関係で考え、説明している。【観察・ノート】 [態度] 表から二つの数量の関係を見いだした過程を振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
3	・ 伴って変わる 2 つの数量の関係（商が一定）について、表を用いてその関係をとらえ、□や○を使った式に表すことができる。 下p.58～59	①1辺が1cmの正方形を階段状に並べたときの段の数と周りの長さの関係を調べる。 ②表に段の数と周りの長さをまとめ、その関係を式に表す。 ③段の数が 50 段のときの周りの長さを求める。 ④「ますりんつうしん」を読み、比例の見方を知る。	【思判表】伴って変わる二つの数量の変化の特徴に着目して、表を縦や横の関係で考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】前時までの、表から二つの数量の関係を見いだした過程を振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
まとめ 下p.60, 145 1時間			
4	・ 学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下p.60	①「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。【観察・ノート】
・【発展】巻末 p.145 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み、単元の学習内容を基に数量の変化についての理解を深める。			

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	下 p.61
配当時数	—	活動時期	12 月中旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・ 既習内容の理解を確認する。 下p.61	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	12. 広さの表し方を考えよう [面積のはかり方と表し方]			教科書の ページ	下 p.62～81, 146
配当時数	11 時間	活動時期	1 月中旬～下旬	学習指導要 領の内容	A(6)ア(イ), イ(ア) B(4)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(8)

単元の目標		面積に関する単位について理解し、正方形や長方形の面積を計算して求められるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して面積の求め方や面積の単位と既習の単位との関係について考える力を養い、基準となる普遍単位の個数を基に考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	面積の普遍単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることやその求め方、面積の単位間の関係を理解するとともに、面積についての量感を身につけている。
	思考・判断・表現	量や乗法の学習を基に、面積の意味や図形の構成要素に着目して、面積を数値化して表すことや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	面積を数値化して表すことのよさや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 広さの表し方 下p.62～65 2 時間		★他教科との関連: 英語	
1	[プロローグ] 下p.62 ・面積の比べ方を様々な方法で考え、説明することができる。 下p.63	①p.62 の絵を提示し、日常生活の中で面積を比べる場面や陣取りゲームを取り上げ、自由な話し合い活動を通して、広さのはかり方や表し方を考えるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①陣取りゲームで得られた図形の面積の比べ方を考える。	【思判表】図形を構成する正方形や長方形の数に着目して、面積の比較について考え、説明している。 【観察・ノート】 【態度】量の学習において長さやかさ等を数値化して比較したことを振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
2	・面積の単位「平方センチメートル (cm²)」を知り、面積の意味について理解する。 下p.64～65	①陣取りゲームで得られた図形の面積の表し方を考える。 ②「面積」の意味や面積の単位「平方センチメートル (cm²)」について知る。 ③図の面積が 1cm² であることの説明やいろいろな形の 4 cm² の図形をかく。	【知技】面積の意味や面積の単位「平方センチメートル (cm²)」について理解している。【観察・ノート】 【思判表】面積の意味や 1cm² の大きさに着目し、面積の表し方や 4cm² の図形のかき方を考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(2) 長方形と正方形の面積 下p.66～73 3時間			
3	・長方形, 正方形の面積を計算で求める方法を理解し, 面積の求め方を公式にまとめることができる。	①長方形, 正方形の面積を計算で求める方法を考える。 ②「公式」の意味を知り, 長方形, 正方形の面積の公式をまとめる。	[知技]公式を用いて, 長方形や正方形の面積を求めることができる。【観察・ノート】
4	下p.66～68	①公式を用いて, 長方形や正方形の面積を求めたり, 辺の長さを求めたりする。 ②測定した値を用いて, 面積を求めることを確認する。 ③周りの長さが等しい長方形や正方形の面積を調べ, 周りの長さが等しく面積が異なる図形があることを知る。	[思判表]正方形, 長方形の特徴や 1cm^2 のますの数に着目して, 長方形や正方形の面積を求める公式を考え, 説明している。【観察・ノート】
5	[今日の深い学び] ・既習の長方形や正方形の面積を求める学習を活用して, L字型の図形の面積の求め方を考え, 説明することができる。 下p.69～73	①長方形を組み合わせた図形の面積を, 分割したり, 補ったりするなどのいろいろな考えで求める。 * デジタルコンテンツ設定有 ②他者の考えを図や式から読み取り, 説明する。	[思判表]L字型の図形がいくつかの長方形で構成されていることに着目するなど, 面積の求め方を考え, 説明している。【観察・ノート】 [態度]図を分割したり補ったりして面積を求めたことを振り返り, 学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
(3) 大きな面積の単位 下p.74～78 4時間			
6	・面積の単位「平方メートル (m^2)」を知り, 辺の長さが m の場合も, 長方形や正方形の面積の公式が適用できることを理解する。 下p.74～75	①長方形の形をした教室と正方形の形をした理科室の面積の求め方を考える。 ②面積の単位「平方メートル (m^2)」を知る。 ③辺の長さが m で表されていても, 面積の公式が使えることを確認する。	[知技]辺の長さが m で表された長方形や正方形の面積も, 公式を用いて面積を求められることを理解している。【観察・ノート】 [思判表]もとにする広さに着目して, 大きな面積の表し方を考え, 説明している。【観察・ノート】
7	・ m と cm の関係を基に面積の単位 m^2 と cm^2 の関係を考え, 説明することができる。 下p.75	① 1m^2 は何 cm^2 かを調べる。 ②紙を使って, 1m^2 の正方形を作り面積の量感をつかむ活動に取り組む。	[知技]辺の長さの単位がそろっていない長方形の面積を m^2 や cm^2 で表すことができる。【観察・ノート】 [思判表] $1\text{m}=100\text{cm}$ であることに着目して, $1\text{m}^2=10000\text{cm}^2$ であることを考え, 説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
8	・面積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」「平方キロメートル (km ²)」を知り、面積の単位の相互関係を理解する。 下p.76～78	①1 辺の長さを 10m や 100m にしたときの面積を考え、面積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」を知る。	【知技】面積の単位「a」「ha」「km ² 」とその相互関係を理解している。【観察・ノート】 【思判表】正方形の 1 辺の長さに着目して、1cm ² 、100cm ² 、1m ² 、1a、1ha、1km ² の単位の相互関係を考え、説明している。【観察・ノート】
9		①町の面積を調べ、面積の単位「平方キロメートル (km ²)」を知る。 ②1km ² は何 m ² になるか調べる。	
(4) 長方形のたての長さとの面積の関係 下p.79 1時間			
10	・長方形の周りの長さとの面積の関係を、表やグラフを基に考え、説明することができる。 下p.79	①長方形の縦の長さとの横の長さ、面積について表にまとめる。 ②縦の長さとの面積の変わり方を折れ線グラフから読み取る。	【思判表】表や折れ線グラフに着目して、縦の長さとの面積の関係を考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】表を用いて数量関係を整理し、折れ線グラフから変化の特徴について考察したことを振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
まとめ 下p.80～81, 146 1時間			
11	・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下p.80～81	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】基本的な問題を解決することができる。【観察・ノート】 【思判表】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【観察・ノート】 【態度】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。【観察・ノート】
・【発展】 巻末 p.146 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み、単元の学習内容を基に面積についての理解を深める。			

単元名	13. 小数のかけ算とわり算を考えよう [小数のかけ算とわり算]			教科書の ページ	下 p.82～103, 147
配当時数	15 時間	活動時期	2 月上旬～中旬	学習指導要 領の内容	A(4)ア(ア)(エ), イ(ア) 内容の取扱い(5)

単元の目標		被乗数や被除数が小数の場合の乗除計算の仕方について理解し、筆算を用いて計算できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算の仕方や小数倍について考える力を養い、既習の計算方法や倍の学習を基に考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	既習の乗除計算の仕方や整数倍の学習を基に、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で積や商が小数になる場合の計算の仕方を理解し、答えを求めたり小数倍を求めたりすることができる。
	思考・判断・表現	数の構成に着目し、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で積や商が小数になる場合の計算の仕方を考え説明したり、整数倍の学習を基に小数倍の意味について考え説明したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で積や商が小数になる場合の計算の仕方を既習の乗除計算の仕方を基に考えたり、小数倍の意味を整数倍の意味を基に考えたりした過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 小数のかけ算 下p.82～88 4 時間			
1	[プロローグ] 下p.82 ・ 小数×整数の計算を dL や 0.1L を基に考え、説明することができる。 下p.83～84	①p.82 の問題場面を提示し、問題場面やテープ図より演算決定をしながら、整数の乗除計算の仕方を振り返る活動を通して、小数においても乗除の計算ができるようになるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①立式し、その式になる理由を考える。 ②0.3×6 の計算の仕方を考える。 ③0.3×6 の計算の仕方をまとめる。 ④計算練習をする。	[知技]既習の乗法の計算の仕方を用いて、小数×整数の計算をすることができる。【観察・ノート】 [思判表]dL や 0.1L, 乗法の性質に着目して、小数×整数の計算の仕方を考え、説明している。【観察・ノート】
2	・ 乗法の性質を基に、1/10 の位までの小数×1 位数の計算の仕方や筆算の仕方を説明することができる。 下p.84～85	①3.6×7 の計算の仕方を考える。 ②3.6×7 の筆算の仕方を考える。 ③3.6×7 の筆算の仕方をまとめる。 ④計算練習をする。	[知技]既習の乗法の筆算の仕方を用いて、1/10 の位までの小数×1 位数の筆算ができる。【観察・ノート】 [思判表]乗法の性質に着目して、1/10 の位までの小数×1 位数の筆算の仕方について考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
3	・1/10 の位までの小数に1 位数や2 位数をかける筆算(被乗数が純小数の場合や積の末位が0 になる場合を含む)の仕方を理解し,その計算ができる。 下p.86	①$0.2 \times 4$, 0.8×5, 7.5×4 の筆算(被乗数が純小数の場合や, 積の末位が0 になる場合)の仕方を考える。 ②計算練習をする。 ③$1.8 \times 34$ の筆算の仕方を考える。 ④$1.8 \times 34$ の筆算の仕方をまとめる。 ⑤計算問題や文章問題に取り組む。	【知技】1/10 の位までの小数に1 位数や2 位数をかける筆算(被乗数が純小数の場合や, 積の末位が0 になる場合を含む)の仕方を理解している。【観察・ノート】 【思判表】前時に学習した筆算の方法に着目し, 被乗数が純小数の場合や, 積の末位が0 になる場合を含む場合においても計算方法は変わらないことを説明している。【観察・ノート】
4	・乗法の性質や1/10 の位までの小数$\times$1 位数の計算の仕方を基に, 1/100 の位の小数に1 位数をかける筆算の仕方を説明することができる。 下p.87～88	①$1.36 \times 7$ の計算の仕方を考える。 ②$1.36 \times 7$ の筆算の仕方を考える。 ③$1.36 \times 7$ の筆算の仕方をまとめる。 ④計算練習をする。 【発展】 ①「ますりんつうしん」を読み, 入れ物の個数が2 倍, 3 倍, …になると, 入れ物に入る全部の水の量も2 倍, 3 倍, …になることを知る。	【知技】既習の乗法の筆算の仕方を基に, 1/100 の位までの小数$\times$1 位数の筆算ができる。【観察・ノート】 【思判表】乗法の性質や1/10 の位までの小数$\times$1 位数の計算の仕方に着目して, 1/100 の位までの小数$\times$1 位数の筆算の仕方について考え, 説明している。【観察・ノート】 【態度】既習の乗法の筆算の仕方を基にして考えた過程を振り返り, 学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
(2) 小数のわり算 下p.89～97 7 時間			
5	・小数$\div$整数の計算を dL や 0.1L を基に考え, 説明することができる。 下p.89～90	①立式し, その式になる理由を考える。 ②$3.6 \div 3$ の計算の仕方を考える。 ③$3.6 \div 3$ の計算の仕方をまとめる。 ④計算練習をする。	【知技】既習の除法の計算の仕方を基に, 小数$\div$整数の計算をすることができる。【観察・ノート】 【思判表】dL や 0.1L に着目して, 小数$\div$整数の計算の仕方を考え, 説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
6	・ 1/10 の位までの小数÷1 位数の計算ができる。 下p.90～92	①7.2÷3 の計算の仕方を考える。 ②7.2÷3 の筆算の仕方を考える。 ③7.2÷3 の筆算の仕方をまとめる。 ④計算練習をする。	【知技】既習の除法の筆算の仕方をを用いて、1/10 の位までの小数÷1 位数の筆算ができる。【観察・ノート】 【思判表】小数点の位置に着目して、1/10 の位までの小数÷1 位数の筆算の仕方について考え、説明している。【観察・ノート】
7	・ 1/10 の位までの小数を 1 位数や 2 位数でわる筆算(商が純小数になる場合を含む)の仕方を理解し、その計算ができる。 下p.93	①6.3÷7 の筆算(商が純小数になる場合)の仕方を考える。 ②上記の型の計算問題と文章題に取り組む。 ③95.2÷28 の筆算の仕方を考える。 ④計算問題と文章問題に取り組む。	【知技】既習の 1/10 の位までの小数÷1 位数の筆算の仕方をを用いて、商が純小数になる場合の除法の筆算の仕方を理解し、計算することができる。【観察・ノート】 【思判表】小数点の位置に着目して、1/10 の位までの小数を 1 位数や 2 位数でわる筆算(商が純小数になる場合を含む)の仕方について考え、説明している。【観察・ノート】
8	・ 既習の 1/10 の位までの小数÷1 位数の計算の仕方を基に、1/100 の位の小数を 1 位数や 2 位数でわる筆算(商が純小数になる場合や被除数が純小数の場合を含む)の仕方を考え、説明することができる。 下p.94	①9.48÷4 の筆算の仕方を考える。 ②計算練習をする。 ③0.24÷6 の筆算(商が純小数になる場合や、被除数が純小数の場合)の仕方を考える。 ④計算練習をする。	【知技】既習の 1/10 の位までの小数÷1 位数の計算の仕方をを用いて、1/100 の位の小数を 1 位数や 2 位数でわる筆算(商が純小数になる場合や、被除数が純小数の場合を含む)ができる。【観察・ノート】 【思判表】1/100 の位の小数を 1 位数や 2 位数でわる筆算の仕方を、既習の除法の筆算を基に考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】既習の除法の筆算の仕方を基にして考えた過程を振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
9	・ 小数÷整数で余りを求める計算で、余りの大きさについて理解し、その計算ができる。 下p.95	①46.7÷3 の筆算をして、商を一の位まで求める。 ②余りの大きさを考える。 ③46.7÷3 の筆算の検算をする。 ④余りの小数点の位置についてまとめる。 ⑤計算練習をする。	【知技】被除数が小数の場合の、余りのある除法の筆算ができる。【観察・ノート】 【思判表】筆算に用いられる数字の意味に着目して、余りのある除法の筆算について考え、説明している。【観察・ノート】
10	・ 整数÷整数でわり進みをするときの筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 下p.96	①6÷4 の筆算の仕方を考える。 ②わり進むとき、被除数に0を補って計算を続けることを知る。 ③計算練習をする。	【知技】小数点以下に0を補うことを用いて、整数÷整数の筆算をわり切れるまで計算することができる。【観察・ノート】
11	・ 小数÷整数でわり進みをするときの筆算の仕方を理解し、その計算ができ、その商を概数で表すことができる。 下p.97	①1.7÷5 の筆算の仕方を考える。 ②適用問題に取り組む。 ③13÷3 の計算をして、商は四捨五入して上から2桁の概数にするには、何の位で四捨五入すればよいか考える。 ③ 適用問題に取り組む。	【知技】被除数の末尾に0を補うことを用いて、小数÷整数をわり切れるまで計算することができる。【観察・ノート】 【知技】わり切れない除法で、四捨五入を用いて概数で商を求めることができる。【観察・ノート】
(3) 小数の倍 下p.98～100 2時間			
12	・ 小数が何倍かを表すのに用いられることを倍の計算を基に考え、説明することができる。 下p.98～100	①80m, 120m, 100m は、40m の何倍かを求める。 ②120m は 80m の何倍かを求める。 ③何倍かを表すときに小数を用いることがあることをまとめる。	【知技】既習の倍の意味や計算を基に小数倍について理解し、何倍かを表す数を求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】2つの数量の関係に着目して、小数倍について図を用いて考え、説明している。【観察・ノート】
13		①120m, 50m, 80m は、100m の何倍かを求める。 ②倍を表す数が純小数のときの、倍の意味を考える。	【知技】倍を表す数が純小数のときの意味を理解し、何倍かを表す数を求めることができる。【観察・ノート】 【思判表】基準となる数や小数倍の意味に着目して、純小数倍の意味について考え、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
まとめ 下p.101～103, 147 2時間			
14 ・ 15	・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下p.101～103	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】 基本的な問題を解決することができる。 【観察・ノート】 【思判表】 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。 【観察・ノート】 【態度】 単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。 【観察・ノート】
・【発展】巻末 p.147 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み、単元の学習内容を基に乗法や除法の性質、筆算の仕組みについての理解を深める。			

単元名	どんな計算になるのかな？			教科書のページ	下 p.104～105
配当時数	1 時間	活動時期	2 月中旬	学習指導要領の内容	A(3)(4) B(4)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	・加減乗除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。 下p.104～105	①問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。	【思判表】 問題場面に着目して、適切な式について考え、説明している。 【観察・ノート】 【態度】 主体的に問題解決に取り組むとともに、既習の演算決定の場面を振り返り、学習に生かそうとしている。 【観察・ノート】

単元名	14. 箱の形の特ちょうを調べよう [直方体と立方体]			教科書の ページ	下 p.106～119, 148
配当時数	9 時間	活動時期	2 月下旬～ 3 月上旬	学習指導要 領の内容	B(2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(3)ア(ア),イ(ア)

単元の目標		直方体や立方体における直線や平面の関係について理解し説明できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、立体図形の特徴や性質について考える力を養い、立体図形を構成する要素や位置関係に着目し考察したことを振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	直方体や立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解し、それらを活用して展開図や見取図をかいたり、位置を表したりすることができる。
	思考・判断・表現	立体図形の構成要素や位置関係に着目して、特徴や性質を考え説明したり、直方体を基に、直線や平面の垂直と平行の関係、ものの位置の表し方を考え、説明したりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	立体図形について、構成要素や位置関係に着目してとらえたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 直方体と立方体 下p.106～111 4 時間 ★他教科との関連: 英語			
1	[プロローグ] 下p.106 ・身の回りの箱の形に関心をもち、既習の平面図形を基に直方体や立方体、立体の意味を理解する。 下p.107～108	①p.106 の写真を提示し、3 つの質問をしてどの箱かあてるゲームを行うことを通して、立体図形の構成要素や位置関係に着目し、とらえるという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度) ①身の回りのいろいろな箱を面の形に着目して仲間分けする。 ②箱の形の特徴を調べる。 ③「直方体」「立方体」「立体」の意味を知る。	【知技】直方体や立方体、立体の意味を理解している。【観察・ノート】 【思判表】構成する面の形に着目して、直方体や立方体、立体について説明している。【観察・ノート】
2	・構成要素に着目して直方体や立方体の特徴、性質を理解する。 下p.109	①直方体や立方体の面、辺、頂点についての特徴、性質を調べる。 * デジタルコンテンツ設定有 ②「平面」の意味を知る。	【知技】面や辺、頂点の数について調べ、直方体、立方体の特徴や性質を理解している。【観察・ノート】 【思判表】直方体や立方体を構成する面の形や大きさ、辺の大きさに着目して、直方体や立方体の特徴をとらえ、説明している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
3	・ 辺の長さや面のつながりなどに着目して、直方体、立方体の展開図をかき、直方体や立方体の特徴を説明することができる。 下p.110～111	①「展開図」の意味を知る。 ②展開図をかき、それを切り抜いて直方体を組み立てる。 * デジタルコンテンツ設定有	[知技] 辺の長さや位置関係に着目して、直方体や立方体の展開図をかくことができる。【観察・ノート】 [思判表] 辺の長さや面のつながり、位置関係に着目して直方体や立方体の展開図をかき、直方体や立方体の特徴をとらえ説明している。【観察・ノート】
4		①展開図をかき、それを切り抜いて立方体を組み立てる。 ②適用問題に取り組む。	
(2) 面や辺の垂直・平行 下p.112～115 3 時間			
5	・ 直方体の面と面の垂直、平行の関係を理解する。 下p.112～113	①写真を見て、直方体や立方体が積み重ねられる理由を考える。 ②直方体の面と面の交わり方、並び方を調べる。	[知技] 四角形の辺と辺と同様に、直方体の面と面の垂直や平行について理解している。【観察・ノート】 [態度] 既習の四角形の辺と辺の垂直や平行について考えた過程を振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】
6	・ 直方体の辺と辺の垂直、平行の関係や、面と辺の垂直、平行の関係を理解する。 下p.113～114	①直方体の辺と辺の交わり方、並び方を調べる。 ②直方体の面と辺の交わり方を調べる。 ③身の回りのものの中から、垂直や平行になっている面や辺を見つける。	[知技] 直方体の辺どうしの垂直や平行や、面と辺の垂直や平行について理解している。【観察・ノート】 [思判表] 面や辺どうしの垂直・平行の関係に着目して、面と辺の位置関係をとらえ、説明している。【観察・ノート】 [態度] 面や辺の関係を考え、身の回りから垂直や平行の関係をみつけたことを振り返り、生活に生かそうとしている。【観察・ノート】
7	・ 直方体、立方体の見取図をかくことができる。 下p.115	①「見取図」の意味を知り、そのかき方を考える。 ②辺どうしの平行の関係をを用いて、直方体の見取図をかく。 * デジタルコンテンツ設定有	[知技] 辺と辺の平行関係を用いて、直方体や立方体の見取図のかき方を理解し、かくことができる。【観察・ノート】
(3) 位置の表し方 下p.116～117 1 時間			
8	・ 平面上や空間にある点の位置の表し方について理解する。 下p.116～117	①平面上の点の位置の表し方を考える。 ②平面上の点の位置の表し方をまとめる。 ③平面上の点の表し方を基に、空間にある点の位置の表し方を考える。 ④空間にある点の位置の表し方をまとめる。	[知技] 平面上にある点の位置は 2 つの数で、空間の場合は 3 つの数で表せることを理解している。【観察・ノート】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
まとめ 下p.118～119, 148 1時間			
9	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 下p.118～119	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	【知技】 基本的な問題を解決することができる。 【観察・ノート】 【思判表】 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。 【観察・ノート】 【態度】 単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。 【観察・ノート】
・【発展】 巻末 p.148 の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組む、単元の学習内容を基に立方体の展開図についての理解を深める。			

単元名	考える力をのばそう 「共通部分に注目して」			教科書のページ	下 p.120～121
配当時数	1 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要領の内容	A(6)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	2 量の共通部分に着目し、問題構造を図に表して問題を解決することを通して、問題構造を簡潔にとらえられる図のよさに気づくとともに、問題を解決する能力を高める。 下p.120～121	①小プールと大プールを泳いだ回数と、合計の距離から、それぞれのプールの長さを求める問題を、図を基に考える。 ②上で表した図を用いて、説明する。 ③適用問題に取り組む。	【思判表】 図を使って共通部分に着目して、数量の関係を単純化してとらえ、言葉や図、式を用いて説明している。 【観察・ノート】 【態度】 主体的に問題解決に取り組むとともに、図を利用して問題構造を簡潔にとらえたことを振り返り、学習に生かそうとしている。 【観察・ノート】

単元名	算数で読みとこう 「ぼうさいについて考えよう」			教科書の ページ	下 p.122～123
配当時数	1 時間	活動時期	3 月中旬	学習指導要 領の内容	B(1) D(1)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	既習内容を活用していくつかの棒グラフやデータを考察し、問題解決能力や情報処理能力を高める。 下p.122～123	①問題解決に必要なデータを適切に選択する。 ②時間を日に変換する。 ③問題場面に合わせて演算決定を行い、計算をする。 ④複数の直線の位置関係に着目して問題解決を図る。	【思判表】解決の根拠を棒グラフやデータに着目して、目的に応じてデータを選択して問題解決を図り、説明している。【観察・ノート】 【態度】主体的に問題解決に取り組むとともに、棒グラフやデータの読み取り、問題解決の結果やプロセスを振り返り、生活に生かそうとしている。【観察・ノート】

単元名	4 年のふくしゅう			教科書の ページ	下 p.124～128
配当時数	3 時間	活動時期	3 月中旬	学習指導要 領の内容	A～D

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1 2 3	既習内容の理解を確認する。 下p.124～128	①問題を解決する。	【知技】既習内容について解決の仕方を理解し、問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	かたちであそぼう「デジタル数字」			教科書のページ	下 p.130
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・さかさまから見ても形が変わらない図形を探す活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。 下p.130	①デジタル数字で表された0から9までの数で、さかさまから見ても変わらない数を探す。 * デジタルコンテンツ設定有 ②上で見つけたさかさまから見ても形が変わらない数字を組み合わせるなどして、11 から 999 までの数や、時刻などについて、さかさまから見ても変わらないものを見つける。	【思判表】形の特徴に着目し、さかさまから見ても数が変わらない数字を組み合わせて、別の数の作り方を考え、説明している。【観察・ノート】 【態度】数学的活動を楽しみ、数字を工夫して組み合わせ、さかさまから見ても形が変わらない数を探す活動を振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】